

# 2023年度 基本方針・事業計画

持続可能な子どもの未来創造委員会

【基本方針】

委員長 中村 伸哉

(ミッション) 「あるべき親子の絆を深め、自律(自立)できる子どもを育成する」

近年わが国ではひきこもりやニート、8050問題など子どものみならず親や地域社会にも暗い影を落とす問題が起きており、この原因として子どもの自律(自立)心の弱さや、幼少期での親や地域の関わり方が成長に影響を与えているためだと考えております。この問題に対し、子どもが自分で物事を考えて行動できる、自分で新たなコミュニティを形成できるような自律(自立)心を育む環境が必要であり、親はこどもの興味・やりがいいに対する理解や関わり合い方を考えること、地域は将来このまちの支えていく子どもたちの社会性や多様性の成長を促す場や機会を提供することが重要であると考えます。当委員会ではこのような親子の絆や地域との関わりを深め、自律(自立)心と郷土愛をもった子どもへと成長していくための助力になりたいと考えております。

その手法のひとつに、子どもが全力で取り組み、親と地域で連携して共通目標に向けて協力するものとしてスポーツが挙げられます。親や指導者、チームメイトと関わり苦楽を共にするスポーツは子どもの心と身体の成長に重要です。当委員会としては、“子どものスポーツに対するモチベーション低下”や“身体の不調・故障”によってスポーツを続けることをやめてしまう、諦めてしまうことを防ぐこと、親と指導者とで子どものモチベーション向上を図り、スポーツへのやりがいを見出してあげることに協力し、子どもがやりがいのあるスポーツを続け自己の身体について意識し行動する自律心の成長を促します。

また子どもの自立心を育むひとつとして、チャレンジ精神の形成があげられます。現代社会では失敗することへの恐怖意識が強く、挑戦意欲の弱い子どもが増えている現状があります。親の「わが子の失敗を未然に防ぎたい、他人や周りに迷惑をかけたくない考え」が強いことが原因であると考えます。子どもが様々なことに興味を持つことは自然であり、初めて経験には失敗がつきものです。子どもには自立のための一歩踏み出す勇気をもってもらいたい。親は子の多少の失敗を責めず成功したことをしっかりと褒めることで、親子の絆が深まり子どもは大きく成長すると考えます。

当委員会は節度ある親子の関係を絆と定義し、自律(自立)できる子ども育成のため、承認欲求にアプローチした事業を家族や地域のご協力のもと提供致します

・担当例会(2月)

子どもの心と体の成長に有効な手段の一つであるスポーツを継続していくための心と体のバランスを、親と子と指導者全員で考え、実践する機会を提供します。

・担当例会(6月)

挑戦意欲をもった自立できる子どもを育成し、地域を介して親子の絆を深める機会を提供します。

・まちしるべメンテナンス(7月)

柏崎刈羽地域の歴史が刻まれた50基のまちしるべの清掃及び状態の確認・修復を会員全体に割り振って行います。